

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 37 号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので宜しくお願いします）

★ News Topics ★

- [1. MEC 会社情報] MEC40 周年の軌跡
 - [2. MEC 用途情報] なんと騒音値 63 デシベル！防音ポンプ QP-3TS の広がり
 - [3. MEC 技術部発信] ディーゼルエンジンがかからない・・・！？
 - [4. MEC 海外情報] “ARA Show 2025 in Las Vegas”
-

☆★—————★★☆

MEC 会社情報： 40 周年の軌跡

—————☆☆

40 年分の思いを添付に纏めましたので、是非 URL をご覧ください！

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2025/07/40th-anniversary.pdf>

（和田記）

☆★—————★★☆

MEC 用途情報：なんと騒音値 63 デシベル！防音ポンプの広がり

—————☆☆

以前このメールマガジンで（株）船山様を通じて x 4 台が関東圏の消防本部に納入されたことはお伝えしましたが、また船山様を通じてこの度、中部圏の消防局に採用され納入しました。

採用されたポイントは

1. 今迄、災害用排水ポンプは保有していなかったこと
 2. 静かである
 3. 防火水槽を定期的に掃除するが底に砂、砂利が溜まっており、この製品はトラッシュポンプなので吸い上げることができる
- という点です。

納入にあたり 2 名で現場に立ち合い、近所の河川堤防で試運転を行いました。

掃除蓋が外せてメンテナンスが楽なことやエンジンのマフラーが無い特許構造になっていることなどを説明しましたが、やはり音の静かさと水量の多さ（最大 1500L 毎分！）に満足され、今後有効に活用するとの声を頂きました。

そうそう…..トラッシュポンプは砂、砂利、小石交じりの水が大好きですが、防火水槽の掃除で QP ポンプが使われている消防局は他にもあり、それまでは消防ポンプで上澄みを排水し、底の砂や砂利はスコップで掻き出していたものを QP トラッシュで最初から最後まで完結できるため便利に使われているようです。

最近注目されている防災用途にも最適、また防火水槽の保守にも活躍する QP トラッシュシリーズ、是非 PR お願い致します。

（営業部 輪嶋記）

☆☆—————☆☆

MEC 技術部発信：ディーゼルエンジンがかからない・・・！？

—————☆☆

ある日、お客様から「エンジンがかからない」という問合せとともに返ってきたポンプ。

工場で試運転するもエンジンに異常はなく、お客様のもとに返却しました。

ところが数日すると、また同じお客様から「異常ないと戻されたエンジンが始動しない」との連絡が入り、再度検証する事になりました。

エンジンには異常がないのにお客様のところでは始動しない。

何故だろう？と暫く考え込み、あっ！と思い出したのは、自身の入社当初の経験です。

私は入社した頃ディーゼルエンジンを始動する事ができず先輩に頼っていました。

私は体格の良い方で力には自信がありました、一方先輩は華奢でお世辞にも力があるとは思えない人でしたが淡々とディーゼルエンジンを始動するのです。先輩曰くディーゼルエンジンのリコイルスターターの引き方には「コツ」があると教えられました。それは「リコイルスターターを勢いよく最後まで引ききる」ことだそうです。？？？

言葉で「コツ」と言われても実際にはなかなか上手くできません。

もう一度先輩にエンジンを始動してもらい、先輩と私との違いは何か観察すると リコイルロープの引き代でした。これが分かると私にも容易に始動できるようになりました。始動方法は、エンジン取扱説明書にも記述されています。

しかし、このコツの表現が出来ないのです。最近では、ポンプに搭載する様な小型ディーゼルエンジンを扱う人も少なくなり、この様な始動のコツを教えられる人が少なくなってきたのだと思います。

そこで私たちは、この「コツ」を皆様にわかりやすくお伝えするために、動画制作しました。この動画は視聴回数も伸びている為、多くの方々に好評をいただいていると思います。今回のお客様も、動画を見て「問題なくエ

ンジンが始動できた！」とのご連絡いただきました。これからもお客様により良いサービスを提供できるよう、様々な情報を発信していきます。

◆動画はこちら↓

<https://www.youtube.com/watch?v=DCVhq-gYZOE&t=12s>

(技術部 山川記)

☆☆—————☆☆

MEC 海外情報：“ARA Show 2025 in Las Vegas”

—————☆☆

今年1月末にアメリカのラスベガスで開催された ARA show に参加してきましたので、その一部をレポートします。

まず ARA show って何？という話ですが、American Rental Association show の略語です。アメリカのレンタル協会が主催する展示会で、建設機械やイベント商品が並ぶ、アメリカ最大規模の展示会です。公式サイトによると、1956年から始まり現在まで続く伝統ある展示会で、毎年数百社が出展されます。

我らのアメリカ代理店で最大手建機レンタル会社である Multiquip 社も出展し、そしていま話題の QP-pump 新製品「QP2TeGX」が展示されるとの情報があり、これは居ても立っても居られないとのことで出張してきました。

会場に入ると、まずその広さに驚かされます。

各社のブースで埋め尽くされ、クレーン、高所作業車、フォークリフトやロードローラーなど大型機械が何台も並ぶ光景に圧倒されます。小型機械では、ランマー、プレートコンパクター、ミキサー、発電機など、建設現場で見る全ての機械が揃っていると言っても過言ではありません。

来場者も多く、あちらこちらで商談が行われていて非常に熱の入ったイベントでした。

今回の目玉である QP2TeGX ですが、Multiquip 社のブースの中で一際目立っており、とても凛としたお姿で鎮座しておりました（親バカ）本機はバッテリー駆動の電動ポンプとして世界初の製品でもあり、来場者が興味を持って足を止めてくれる場面が多く見られました。前回の QP メルマガ Vol.36 の中で本機の詳細について紹介していますのでここでは省略しますが、世界が環境問題に取り組む中、脱炭素に貢献できる製品を世の中に生み出したことにメーカーとして誇りに思います。会場全体を見て回りましたが、各社ともに電動化製品を押し出すような展示が多かったです。電動化は出力や運転可能時間など課題がまだまだ残りますが、今後も取り組んでいくべきテーマと再認識しました。

ところでラスベガスと言えば「カジノ」というイメージですね。

あくまで仕事で来ているし・・・と葛藤しながらも、人生経験だし仕事に何か役立つかもと、無理やり自分を納得させてカジノを体験してきました。

カジノに足を踏み入れた瞬間、映画オーシャンズ 11 で見た、華やかでエネルギッシュな世界が広がっていました。スリルと興奮を胸に、オーシャンズの一員になったような錯覚で一攫千金を狙いましたが、気付けばものの数分で一文無し。一気に現実に引き戻されてカジノの恐ろしさを体験することができました。

<https://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2025/04/ARA-show-2025.pdf>

また、次回も宜しくお願い申し上げます。

[illegible]